

12月議会報告  
その1

## 介護保険料基準月額で約1000円の値上げの予想

12月議会では、「第3期介護保険事業計画」をはじめ、市民にとって大きな影響のある計画案が提示されました。提案された概要をお知らせします。資料の必要な方は申し出てください、お渡しします。皆さんとの勉強会懇談会を計画したいと考えています。その機会には是非貴重なご意見をお寄せください。

市会議員 笹田トヨ子

らない中所得で家族人数の多い世帯は3%~10%強の値上げとなる場合があるとのことです。(3人以上の世帯、5727世帯 19.3%) いずれにしてもモデル世帯を想定して具体的に検討することが必要です。

### 一般廃棄物処理基本計画案 (抜粋：ごみ処理について)

当計画の目標年次は10年後の平成27年度とし5年ごとに見直しを行うものとなっています。ごみの排出抑制と可燃ごみでリサイクルできるものを抽出する等でごみの減量化を行い、平成27年度までの目標値が示されました。  
 <事業系ごみ焼却処理料金値上げへ>

生活系可燃ごみ(ステーション収集)と事業系可燃ごみ(施設直接持込)の過去5年間の推移は、生活系が平均0.9%の増加でおおむね横ばい状態に対し、事業系は年平均5.0%増加しています。そこで、事業者などがクリーンセンターに直接持込む可燃ごみの焼却処理料金を見直しが行われ、下記の様な改正案が出されました。

### 排水基本計画について

昨年の台風23号では、市内各地で内水被害が起きました。都市化による土地の保水・遊水機能の低下や集中豪雨や継続降雨等で浸水被害が発生し、内水排除施設の整備など治水対策がせまられています。大垣市はこの間、全域を対象に既存施設の排水能力を把握し、排水区域、土地利用形態、および計画降雨などの基礎条件を含め、昭和51年にできた現排水基本計画を見直してきました。今回出された排水基本計画の目標年次は20年後の平成27年度とし、整備計画期間は10年となっています。

### 大垣市国民健康保険の 保険料率平準化について

大垣市は加入者の能力に応じた応能割(所得に応じた所得割と固定資産税額に応じた資産割)と、世帯の加入人数に応じた応益割(加入人数に応じた均等割と世帯に対する平等割)の比率が65:35になっています。この比率を55:45以内(平準化)になるよう国・県から指導があり、54:46の割合で保険料率の平準化を実施していく考えが明らかにされました。メリットとして平均保険料が約3%下がるとか、一方デメリットは軽減の対象とな

### 大垣市老人保健福祉計画 (第3期介護保険事業計画)について

今年は第3期介護保険事業計画の策定の年にあたり、来年3月には3年間の事業計画をもとに保険料も改定されます。今回中間報告では、10月のホテルコスト導入の影響や介護報酬の改定などで未定の部分があるが、国のワークシートで算出した結果、保険料基準月額は4300円~4600円となる見込みとのことです。現在3320円の保険料ですが、約1000円の値上げが予想されます。

	現在	改正後
生活系一般廃棄物	100円/100kg	シール券が貼ってあるごみ及び減免規定に該当するごみは無料
事業系一般廃棄物	600円/100kg	900円/100kg
産業廃棄物	900円/100kg	1300円/100kg

ご意見・ご質問等はこちらへ TEL 81-1383  
<http://www.sasada-toyoko.jp/> e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp

